

第3学年 道徳科学習指導案

指導者 ○○ ○○

- 1 日時 11月○日(○)○校時
- 2 学年・組 第3学年○組
- 3 単元名 せんそうがあったころの広島
- 4 題材名 引きさかれる家族～ちづ子さんのお話～
- 5 準備物 掲示用写真(ちづ子さんの写真(当時・戦後)、綿岡大雅園(被爆前)の写真、茶屋で働く人の様子、ちづ子さんの家族写真、原子爆弾投下後の十日市付近の写真)

6 本時の学習(学習2)

(1) 目標

【道徳科】 原子爆弾によって突如家族を奪われたちづ子さんの気持ちを考えることを通して、生命の尊さを知り、生命あるものを大切にしようとする心情を育てる。

(内容項目D「生命の尊さ」)

(2) 展開

	学習活動・発問(◆)・反応例(・)	支援(◎)・評価(★)
導入	<p>1 主題について話し合う。</p> <p>◆ どのようなときにみんなで写真を撮りますか。思いつくものを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族で旅行に行ったとき。 ・クラスで遠足に行ったとき。 ・習い事の発表会が終わったとき。 <p>◆ 運動会の際に撮った集合写真を見て、どんなことを感じますか。</p>	<p>◎ 写真を撮る具体的な場面や、写真を撮る意味、写真を撮るときの気持ちなどについて学級で共有し、本時の学習へつなげる。</p> <p>◎ 学級で以前撮った集合写真を提示し、そのときの気持ちや、後になって見返した時どう感じるかについて考えさせ、本時の学習へつなげる。</p>

展開	<p>2 ちづ子さんの気持ちを考えながら、資料「引きさかれる家族～ちづ子さんのお話～」を聞く。</p> <p>◆ ちづ子さんになったつもりで、お話を聞きましょう。</p> <p>3 家族写真を撮ったときのちづ子さんの気持ちを考える。</p> <p>◆ 家族で写真を撮ったときのちづ子さんはどんな思いだったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早く戦争が終わってほしいな。 ・新しい場所でも楽しく過ごせたらいいな。 ・どんな写真になるか楽しみだな。 <p>4 家に帰ることができなかつたときのちづ子さんの気持ちを考える。</p> <p>◆ 家に帰ることができなかつたとき、ちづ子さんはどんな思いだったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族は無事なのだろうか。 ・みんな生きていてほしい。死んだらいやだ。 <p>5 戦後、ちづ子さんが家族写真に入ろうとしなかつた理由について考える。</p>	<p>◎ 写真を使用し、ちづ子さんの家族構成について説明し、発問することにより、当時のちづ子さんの状況を児童が捉えることができるようにする。</p> <p>◎ 写真に写るちづ子さんやその家族の表情についても問い掛けることで、児童がちづ子さんの気持ちを考えやすくする。</p>
	<p>ちづ子さんは、なぜ家族写真に入ろうとしなかつたのでしょうか。</p>	
	<p>・家族の命を奪った原子爆弾のことを思い出したくないから。</p> <p>・写真を撮ると、楽しかったことを思い出してつらくなるから。</p> <p>(「つながり」によって学びを深める場面)</p> <p>6 考えたことを班で交流し、お互いの考えを知り、認め合う。その後発表し、全体交流する。</p> <p>7 自分自身を見つめ、交流する。</p> <p>◆ 今日の授業で、思ったことや考えたことなどを書きましょう。</p>	<p>◎ 導入で考えたことを想起できるように、ひろしまへいわノートの記述を振り返るよう促す。</p> <p>★ 原子爆弾で心に傷を負ったちづ子さんの気持ちについて考えようとしている。(発言内容、記述内容)</p> <p>◎ お互いの意見を比べながら話し合ったり、疑問に思ったことは質問し合ったりするよう声を掛けることで、より深い話し合いになるようにする。</p> <p>◎ 本時の学習だけで終わらず、自分の生活と結び付けて考えることができるように声を掛ける。</p> <p>★ 授業で考えたことをもとに、命の大切さや家族の大切さについて考えようとしている。(発言内容、記述内容)</p>
まとめ	<p>8 次時への学習の見通しをもつ。</p>	<p>◎ ちづ子さんの話を語り継いでいる人がいることを伝える。</p> <p>◎ 「いわたくんちのおばあちゃん」の絵本を紹介する。</p>

引きさかれる家族

みんなで写真をとる場面

・家族旅行の時。・遠足に行ったとき。
・習い事の発表会。

ちづ子さんの
家族写真

・早くせんそうがおわ
ってほしい。
・またみんなでくらし
たい。

ちづ子さんの
写真

・原子ばくだんのこと
を思い出したくないか
ら。
・楽しかった日々を思
い出すのがつらいから。

(分かったこと・思ったこと・考えたこと)

・せんそうは、当たり前前の生活をうばい、心
にきずがのこる。

・自分の家族がいなくなってしまうたらとて
も悲しいので、もうこんなことは起こってほ
しくない。